

兵庫県立粒子線医療センター 公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

陽子線治療と重粒子線治療の両方を行える世界初、日本唯一の粒子線治療施設であること、自治体立として日本初の粒子線治療施設であり、7千件を超える治療実績を有する先駆者であることから、①粒子線治療の普及、②人材育成、③適用症例の拡大を目指す。平成37年（2025年）においては、難治性がんである「肝がん・膵がん・頭頸部腫瘍」患者への治療実績が豊富であること、平成28年度より小児がんの陽子線治療と骨軟部腫瘍の重粒子線治療が保険収載されたことから、①「肝がん・膵がん・頭頸部腫瘍・骨軟部腫瘍」患者への取り組みの強化、②粒子線医療センター附属神戸陽子線センターの開設（平成29年12月予定）、③粒子線治療装置の高度化を図る。

② 今後持つべき病床機能

粒子線治療の普及および適用症例の拡大を踏まえた最適な機能を維持する。

③ その他見直すべき点

なし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	50床		50床
回復期			
慢性期			
(合計)			

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			
2018年度	診療報酬改定に伴う粒子線治療の保険適用症例拡大の動向に応じ県庁所管課等と随時協議	協議の結果、病床機能の変更が生じた場合、必要な手続きを完了させる。	
2019～2020年度	診療報酬改定に伴う粒子線治療の保険適用症例拡大の動向に応じ県庁所管課等と随時協議	協議の結果、病床機能の変更が生じた場合、必要な手続きを完了させる。	
2021～2023年度	診療報酬改定に伴う粒子線治療の保険適用症例拡大の動向に応じ県庁所管課等と随時協議	協議の結果、病床機能の変更が生じた場合、必要な手続きを完了させる。	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	放射線科	→	放射線科
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：76.2 (2017, 2018)、76.0 (2019)、78.0 (2020)
- ・ 紹介率：100 (2017~2020)
- ・ 逆紹介率：100 (2017~2020)

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：37.3 (2017)、37.0 (2018, 2019)、48.8 (2020)
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：-
- その他：-

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)